

第2期
白河市中小企業・小規模企業振興会議について



白河市産業部商工課



白河市中小企業・小規模企業振興会議について（目次）

- | | | |
|---|------------------------|-------|
| 1 | 白河市中小企業・小規模企業基本条例の概要 | 1ページ |
| 2 | 第2期白河市中小企業・小規模企業振興会議委員 | 2ページ |
| 3 | 振興会議の活動経過について | 3ページ～ |



1 白河市中小企業・小規模企業振興基本条例の概要

白河市中小企業・小規模企業振興基本条例
(令和2年4月1日施行)
・市内には約2,900の事業者があるが、そのほとんどは、中小企業・小規模企業となっており、地域経済を活性化するうえで中小企業者等の振興は欠かせない。

中小企業・小規模企業振興会議
・条例(第16条)に基づき組織する。
・委員は20名以内で構成し、市長が委嘱する。
・振興会議は年6回程度行う。

市
・関係部署と横断的な連携を図り、中小企業等の振興に関する施策を総合的に策定し、実施する。

中小企業者等の振興に向けた基本的な方針を定め、地域経済の活性化を図ることで持続可能な地域社会の形成につなげる。

委嘱

社会経済情勢、人手不足、
コロナ禍、景気停滞等

中小企業者等が振興を図るために、市に対して施策や事業等の提案を行う。
提案例)

- ・経営基盤の強化
- ・事業活動の拡大
- ・人材の定着及び育成
- ・創業及び事業承継等の促進

提案

提案の結果

振興会議から提案された事項について、関係機関や部署と連携し、政策の検討・立案を行う。



2 第2期白河市中小企業・小規模企業振興会議委員

(任期:令和5年3月24日～令和7年3月23日)

	氏名	組織名	役職
会長	藤田 龍文	株式会社 楽市白河	代表取締役
副会長	増子 国安	福島県中小企業家同友会 白河支部	副支部長
委員	大越 正弘	福島大学 地域未来デザインセンター	特任教授
委員	菊地 広幸	東邦銀行 白河支店	支店長
委員	宇埜 康平	日本政策金融公庫 郡山支店	支店長
委員	武田 美奈子	株式会社 武田産業	代表取締役
委員	吉島 祐輔	大島屋蒟蒻店	代表取締役
委員	井上 竜一	ジョルダン株式会社 白河支店	支店長
委員	和知 健明	ダルライザープランニング	代表
委員	阿部 涼	あべ果樹園	代表
委員	山口 和真	有限会社 山口こうじ店	専務
委員	大竹 洸成	白河商工会議所	経営指導員
委員	佐川 盟子	一般社団法人 産業サポート白河	相談員

【異動により退任された委員】

委員	福島 勲	日本政策金融公庫 郡山支店	支店長
----	------	---------------	-----



3 振興会議の活動経過について①

委嘱状交付式及び第1回白河市中小企業・小規模企業振興会議

令和5年3月24日(金) 場所:市役所本庁舎 全員協議会室

●概要

委員への委嘱状交付、会長・副会長の選出及び中小企業振興に関する意見交換

第2回白河市中小企業・小規模企業振興会議

令和5年4月26日(水) 場所:産業プラザ人材育成センター 研修室

●中小企業振興に関する課題抽出

中小企業の課題である人材確保や若手育成に関して、市内の子供たちは白河市にどんな企業があるか知らない。また、県南地域には大学がないことも問題である。若者に向けてSNSなどを活用した情報発信や、近隣の大学との連携することも必要である。

第3回白河市中小企業・小規模企業振興会議

令和5年6月20日(火) 場所:市役所本庁舎 全員協議会室

●中小企業振興に関する提言内容について

中小企業の課題を解決する為、市に対し提言する事業の対象を誰にするかという議論がなされ、小中学生を対象とし、子供たちが大人になった時に白河に帰ってきたくするような事業を企画するという結論になった。



(委嘱状交付式の様子)



(第1回振興会議の様子)



3 振興会議の活動経過について②

第4回白河市中小企業・小規模企業振興会議

令和5年8月3日(水) 場所:産業プラザ人材育成センター 研修室

●白河管内の雇用情勢について

前回の議事で中小企業の課題として人材確保が挙げられたことを受けて、実際に白河管内の雇用動向について分析を行った。分析の結果、特に建設業や製造業が人手不足であり、一方で事務職では求人が不足している。また、採用しても早期離職してしまうというミスマッチが発生している状況だった。

●中小企業振興に関する提言内容について

小中学生を対象とした事業を企画するにあたって、まず子供たちが地元中小企業を知らないことに問題があり、認知してもらう必要があるという意見があった。また、稼ぐ力を幼い頃から教育すべきという意見もあり、稼ぐ力を養う事業の事例として、子ども起業塾やビジネスコンテストが挙げられた。

●先進地の視察について

小中学生向けの事業を行っている先進地の選定を行った。選定の結果、仙台市にある「仙台子ども体験プラザ」という子ども向けの働くことや社会経済の仕組みについて学ぶ体験施設を視察することとなった。

仙台市視察

令和5年10月12日(木) 場所:仙台子ども体験プラザ

仙台子ども体験プラザを視察。当施設は2016年8月にオープン。子供たちが働くことや社会・経済の仕組み等について学ぶ体験型の施設で、小学5・6年生を対象とした再現された店舗や事業所で働く体験ができる「スチューデントシティ」と、中学生が対象で商品やサービスの購入・契約を体験し、情報を適切に活用する力や生活設計などについて学ぶ「ファイナンスパーク」という2つのブースに分かれています。



(仙台市視察の様子①)



(仙台市視察の様子②)



3 振興会議の活動経過について③

第5回白河市中小企業・小規模企業振興会議

令和5年11月22日(水) 場所:産業プラザ人材育成センター 講堂

●中小企業振興に関する提言内容について

前回の仙台視察を受けて、当市でも体験型の子供向け事業を企画することになった。現在市内小中学校行われている職場体験学習が話題になった。



(第5回振興会議の様子①)

第6回白河市中小企業・小規模企業振興会議

令和6年1月31日(木) 場所:産業プラザ人材育成センター 研修室

●「Out of KidZania inしらかわ2023」の実施報告

11月に県主催で行われた子供たちが職業体験する事業「Out of KidZania inしらかわ2023」の実施状況について、市事務局から委員に対し報告を行った。県南地域にある24の事業所が出展した。また1,000名の定員に対し2,500名の応募があった。

●市内小中学校における職場体験学習の実施状況について

市内小中学校で行われている職場体験学習等の状況について分析を行った。職場体験の受け入れ先として、地元中小企業が少ないことが分かった。

●中小企業振興に関する提言内容について

市内小中学校の職場体験の現状を受けて、地域の人々と関わりを持つことで郷土愛を醸成し、子どもたちが白河市で将来働きたいと思える「しらかわ版職場体験」を企画していくこととなった。



(第5回振興会議の様子②)



3 振興会議の活動経過について④

第7回白河市中小企業・小規模企業振興会議

令和6年5月10日(金) 場所:産業プラザ人材育成センター 研修室

●「しらかわ版職場体験」について

第6回振興会議までの内容を整理し、「しらかわ版職場体験」の方向性について、議論を行った。

現状の中学生の職場体験をより意義のあるものにし、かつ、若年層に地元企業の魅力を知ってもらうための取り組みとするため、3つの新たな策が提案された。



(現状視察の様子【フラワーショップいくた】)

第8回白河市中小企業・小規模企業振興会議 (現状視察)

令和6年7月10日(水) 場所:市内(中学生の職場体験先)

●現状視察

職場体験の現状を把握するため、白河市立南中学校第2学年の職場体験の様子を視察した。委員が3班に分かれ、中学生がどういった体験をしているのか、受け入れしている事業者は職場体験についてどう考えているのか、中学生がどのように感じているのか、などの聞き取りを行った。

事業規模や営業形態による違いも把握するため、様々な業種の職場体験先へ視察を行った。視察先は、以下のとおり。

【視察先】

- A班 : こちや自動車工業(株)、白河市立図書館
- B班 : フラワーショップいくた、ベイシア白河モール店
- C班 : sign hair innovation(美容室)、白河保育園



(現状視察の様子【こちや自動車工業(株)】)



3 振興会議の活動経過について⑤

第9回白河市中小企業・小規模企業振興会議

令和6年7月22日(月) 場所:産業プラザ人材育成センター 講堂

●現状視察の報告

視察を行った各委員より、現状視察について報告を行った。
中学生の職場体験の取り組みについて、効果的だと再認識した一方、受け入れる事業者の負担や学校との連携不足、生徒のモチベーションの差が大きいといった課題も改めて認識した。

●「しらかわ版職場体験」について

今回より、白河市教育委員会事務局の職員を会議に招き、「しらかわ版職場体験」の内容について、生徒・学校側の意見を取り入れた。



(第9回振興会議の様子)

第10回白河市中小企業・小規模企業振興会議

令和6年10月9日(水) 場所:産業プラザ人材育成センター 講堂

●先進地との情報交換会

先進的な職場体験事業に取り組む、新潟県佐渡市とオンラインにて情報交換会を行った。

佐渡市では、郷土愛を軸にしたキャリア教育を推進しており、その一環として、中学生向け職場体験を「課題解決型職場体験」として取り組んでいる。この職場体験は、課題を発見し解決するための実体験をすることによって、仕事の大変さだけでなく、仕事の面白さや醍醐味を感じ、地元とのつながりを実感することを重要視している。「しらかわ版職場体験」においても、郷土愛の醸成や地元企業やそこで働く人とのつながりを念頭に置いていることから、佐渡市「課題解決型職場体験」の現状について積極的な意見交換を行った。



(情報交換会の様子)



3 振興会議の活動経過について⑥

第11回白河市中小企業・小規模企業振興会議

令和6年12月4日(水) 場所:産業プラザ人材育成センター 第一教室

●先進地との情報交換会のフィードバック

前回行った新潟県佐渡市との情報交換会について、各委員が意見を出し合い、「しらかわ版職場体験」に取り入れた方が良い点や難しい点を整理した。

●アンケート調査の中間報告

市内事業者と市内中学校の教員を対象に実施したアンケート調査について、事務局より結果の中間報告を行った。

●「しらかわ版職場体験」について

これまでの議論の中で挙げられた企業紹介動画について、委員が連携してサンプル動画を作成し、視聴した。また、報告書案のとりまとめに向けて議論を行った。



(第11回振興会議の様子)

第12回白河市中小企業・小規模企業振興会議

令和7年1月17日(金) 場所:産業プラザ人材育成センター 講堂

●「しらかわ版職場体験」について

市へ提出する報告書について、前回出された意見を踏まえ、報告書案の取りまとめを行った。

報告書では、市内中小企業者等の課題の整理・検討とそれを解決する策の1つとして、「しらかわ版職場体験」の実施を市へ提案する。

なお、第12回振興会議をもって、第2期白河市中小企業・小規模企業振興会議の全日程を終了し、3月下旬に各委員は任期満了となる。



(第12回振興会議の様子)



3 振興会議の活動経過について⑦

中小企業・小規模企業の振興に関する報告書 手交式

令和7年2月19日(水) 場所:市役所本庁舎 第一応接室

●市長への報告書の提出

「しらかわ版職場体験」について取りまとめた報告書を、藤田会長と増子副会長より市長へ提出した。

今後、市は提出された報告書の内容について、部局横断的に検討を進めていき、施策の実施へ向けた措置を講じる。

●報告書の概要について

市内中小企業者の課題として、「人材の確保・育成支援」に焦点を絞り検討。特に、若年層の人材確保が課題となっていることから、高校生以下、とりわけ小中学生へのアプローチが必要との意見で一致した。

若年層に市内中小企業を知ってもらい、そこで働く人々の素晴らしさや大切さを発見する機会を創出することで、地域に対する誇りや郷土愛を醸成することを基本方針とし、そのための方策として、中学生の職場体験に着目した。

現行の職場体験の課題を改善し、市内中小企業の振興を図るための取り組みとして次の3つの特色を持った「しらかわ版職場体験」を提案。

①職場体験受入企業リストの作成

職場体験の受け入れが可能な企業を市が集約し、リスト化したものを公開する。

②オリエンテーション授業

生徒が職場体験先を決める前に、生徒と事業所とのマッチングの機会を創出。

③課題解決型の職場体験

事業所から生徒へ「ミッション」を与え、生徒はその解決を目的に体験を行う。



(手交式の様子①)



(手交式の様子②)

白河市産業部商工課
電話 0248-21-5910
メール shoko@city.shirakawa.fukushima.jp